

令和3年度全国中学校体育大会
第52回全国中学校柔道大会実施における
新型コロナウイルス感染症拡大防止等に関する方針

令和3年度全国中学校体育大会第52回全国中学校柔道大会

実 行 委 員 会

I 基本方針

参加する選手・監督・コーチ、大会役員をはじめとする大会関係者全員の安全・安心の確保を最優先事項と考え、公益財団法人日本中学校体育連盟（以下、日本中体連という）及び公益財団法人全日本柔道連盟（以下、全柔連という）と連携のうえ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じたうえで大会を開催する。大会参加の制限については、関係機関及び本大会の救護係(医師)の判断を最優先とする。

なお、大会開催可否の判断については、日本中体連「災害等緊急対応要項基準」に則り、関係機関と協議のうえ、判断する。

II 大会前後の留意事項と大会への参加制限について

1. 受付までの留意事項

「令和3年度全国中学校体育大会実施上の COVID-19 感染拡大予防ガイドライン」（日本中体連）に則り、新型コロナウイルス感染症拡大防止に最大限努める。

- ・受付の2週間前からは、所属校（主たる練習場所）以外での練習を極力、行わないこと。
- ・手洗いや消毒の励行、練習相手の限定など、感染防止に最大限努めること。
- ・選手、引率者等は、感染のリスクとなるような行動を自粛すること。
- ・平熱を超える発熱や諸症状がある場合には、医療機関等を受診するなどし、感染の有無を確認することを推奨する。

2. 大会への参加制限

下記（1）～（10）のいずれかの項目にあてはまるときには、選手及び学校、引率者等の大会への参加を認めない。

2週間前～受付まで

- （1）受付前2週間のうちに発熱や諸症状があり、感染が否定できない場合（PCR検査での陰性が証明できない、など）
- （2）同居家族や身近な知人に新型コロナウイルス感染が疑われる方がいる場合
- （3）受付前の2週間のうちに、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- （4）部内において、一人でも新型コロナウイルスの感染者がいる場合
- （5）部内において、一人でも濃厚接触者がおり、その者の感染が否定できない場合（PCR検査での陰性が証明できない、など）

※（4）（5）においては、男女別で活動している学校等は、その限りではない。引率責任者が「学校同行者体調記録表 及び 所属先責任者証明書」【様式24】の備考欄に記載すること。

受付時

(6) 平熱を超える発熱や諸症状がある場合。

いかなる場合にも、37.5℃を超える場合には、入場（参加）できないものとする。
 ただし、平熱（直前2週間の平均とする）が37.0℃前後である場合、該当者は受付で「練習・行動履歴・健康状態記録表」【様式23】を提示し、確認を受ける。実行委員会が関係機関及び救護係(医師)と協議のうえ入場について判断する。
 また、生理等により一時的に体温が高くなった生徒は、37.0℃を超えるおそれがあれば、保護者からの申し出を「健康状態申告書」【様式25】に記入し、その旨を欄外に記載する。

(7) 下記の書類の提出がない場合や記載内容に不備があった場合。

| | 選手 監督・コーチ 引率者 個人戦付添者 | 都道府県 関係者 視察員 見学者 | 大会役員 競技役員 生徒役員 関係業者 |
|---|-------------------------------|---------------------------|------------------------------|
| 練習・行動履歴・健康状態記録表 【様式23】【様式23-2】 ※大会前後2週間分を記入し、大会後1ヶ月程度は保管する。 | 個人保管 | 個人保管 | 個人保管 |
| 学校同行者体調記録表【様式24】 ※引率者が【様式23】を確認し、作成する。 所属先責任者証明書【様式24】 ※練習拠点の監督等が作成する。(自署) | 代表者1名が <u>受付時に提出</u> | — | — |
| 健康状態申告書【様式25】 ※必要事項を記入し、入場時に各日1人1枚を提出する。 ※「⑨誓約」欄に、忘れずに署名する。 | <u>受付翌日から入場時に提出</u> 各日1人1枚 | <u>入場時に提出</u> 各日1人1枚 | <u>入場時に提出</u> 各日1人1枚 |
| 同意書【様式26】 ※保護者より各校校長へ提出する。 | 学校保管 ※選手、付添のみ | — | 学校保管 ※生徒役員のみ |
| 都道府県関係者名簿【様式27】 ※8月18日までに都道府県委員長が作成し、実行委員会へデータで送付する。 | — | 都道府県委員長に 必要事項を報告 | — |

受付後

- (8) 受付後に新型コロナウイルスの感染が確認された選手や引率者等、濃厚接触者であることが確認された選手や引率者等、また諸症状（発熱、咳、鼻水、咽頭痛、頭痛等）がある選手や引率者等の大会参加は認めない。
- (9) (8) の該当者がいる所属校の選手全員（付き添い選手も含む）のその後の大会への参加は認めない。
- (10) 「新型コロナウイルス感染症対策と柔道練習・試合再開の指針 (Version3.1) 6) (1) (2)」(全柔連) に準じ、新型コロナウイルスの感染が確認された選手と大会期間中に対戦した選手並びにその所属校の選手全員は、その後の大会への参加は認めない。

(例)

| | 学校 A | | 学校 B |
|------------|------|---|------|
| 先鋒 | ア | — | カ |
| 中堅 | ① | — | キ |
| 大将 | ウ | — | ク |
| 補員 | エ | | ケ |
| 女子個人戦のみ出場者 | オ | | コ |
| 男子個人戦のみ出場者 | | | サ |

※学校 A と学校 B の対戦後、①が新型コロナウイルス感染症を発症した場合
(陽性判定を受けた場合)

- ・①の大会参加が不可となる。
- ・学校 A の全選手 (ア～オ) のその後の大会参加が不可となる。
- ・キのその後の大会参加が不可となる。
- ・学校 B の全選手 (カ～サ) のその後の大会参加が不可となる。

※ (10) において、オについては来県前後、コ・サについては学校 A との対戦後、団体戦出場選手と活動をともにしていない場合は、その限りではない。

- (11) 感染予防処置を遵守できない者は、他の参加者の安全を確保するために参加取消や途中退場を求めることがある。(入場に関わる提出書類の虚偽記載、マスク着用・手洗いや消毒の指示に従わない、大声を出す、身体間距離を確保しない、飲食時の感染予防を行わない等)

3. 大会後の留意事項

- ・大会参加後 2 週間においても「練習・行動履歴・健康状態記録表」【様式 2 3】に継続して記録する。その期間内に新型コロナウイルス感染が確認された場合は、大会実行委員会に対して、濃厚接触者の有無等も含めて、速やかに報告すること。なお、濃厚接触者特定のために「練習・行動履歴・健康状態記録表」【様式 2 3】が必要となるため、大会終了後も 1 か月程度保管しておくこと。
- ・大会参加後 2 週間において、発熱や諸症状があった場合には、速やかに医療機関の「発熱者外来」を受診すること。

Ⅲ 大会運営上の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

1. マスク着用について

- ・全ての関係者に対し、常時マスクの着用を義務づける。ただし、試合を行う選手については、この限りではない。

2. 手洗いの徹底について

- ・全ての関係者にこまめな手洗いを義務づけるとともに、実行委員会は、十分な量の石けん等を準備する。なお手洗い場には、「手洗いは30秒以上」の掲示をする。

3. 検温について

- ・各会場入口に非接触型体温計を設置する。37.5℃以上の者は、いかなる場合でも入場させない。

4. 手指及び共用施設・備品（試合会場、練習会場、畳等）の消毒について

- ・全ての関係者に対し、会場入場時の手指消毒を義務づけるとともに、会場内においても、適宜、手指の消毒を求める。
- ・試合をする選手には、試合前後に手指の消毒を義務づける。
- ・各試合場及び練習会場に抗菌マットを設置し、畳に上がる際には、全ての関係者に対して足裏消毒を義務づける。
- ・各試合場、練習会場の畳も定期的に消毒を行う。
- ・共用施設・備品は、係員が適宜巡回の上、定期的に消毒を行う。

5. 身体的距離の確保等について

- ・身体的距離を確保しての会場配置や待機場所の設置、参加者の動線等について、感染防止に配慮した対策を講じる。

ぐんまアリーナ1階、ぐんま武道館1階・・・一方通行

ぐんまアリーナ2階・3階、ぐんま武道館2階・・・右側通行

使用可能な座席の指定

6. 学校受付（選手・監督・コーチ）について

- ・学校受付は、各校代表の1名（引率者等）が済ませることとする。選手（含む付添選手）やコーチは、IDカードの受取後に入場とする。

※受付のために入場する代表者は、会場入口で係員に申し出ること。

7. 会場への入場制限について

- ・各会場への入場制限は以下の通りとする

| | 選手 監督・コーチ 引率者 | 個人戦 付添者 | 都道府県 関係者 | 大会役員 競技役員 生徒役員 視察員 | 関係業者 見学者 |
|-----------|---------------------|-----------------------|-------------|-----------------------------|-------------|
| ぐんまアリーナ1階 | ○ | × (当日朝の練習 時のみ可) | × | ○ | ○ |

| | 選手 監督・コーチ 引率者 | 個人戦 付添者 | 都道府県 関係者 | 大会役員 競技役員 生徒役員 視察員 | 関係業者 見学者 |
|------------------|---------------------|------------|-------------|-----------------------------|-------------|
| ぐんまアリーナ 2, 3階 | × | × | ○ | × | × |
| ぐんま武道館 | ○ | ○ | × | ○ | × |

※いずれの場合も、ID および「健康状態申告書」【様式25】の提出がない（記載不備含）者の入場は許可しない。

※大会会場へは、女子団体戦は自身の試合の2試合前までの、男子団体戦は自身の試合の1試合前の、個人戦は自身の試合の4試合前までの選手ならびにチームが入場できることとし、会場内の人数を制限する。

※会場内では各校の監督の下、まとまって行動すること。

8. 選手、監督・コーチ、引率者、個人戦付添者の待機場所について

- ・選手、監督・コーチ、引率者、個人戦付添者の待機場所はぐんま武道館2階観覧席とする。席はブロック毎に割り振るので、指定された場所以外には立ち入らないこと。

9. 会議への参加者の制限について

- ・監督会議への参加は、各都道府県より代表1名とする。
- ・講道館講習会において受講生の募集は行わない。

10. 試合中の選手のID及びマスクの保管について

- ・各自で袋を準備し、その中に保管すること。

11. 試合後の行動について

- ・速やかにアリーナから退場すること。ミーティング等は密を避けて屋外等で行うこと。
- ・帰宅(宿)後は、直ぐに入浴するとともに、柔道衣や衣類の洗濯、用具の消毒を行うことを奨励する。

12. 試合中（全ての間）の発声について

- ・ベンチからの大声での指示や指導、声援は禁止する（審判員には注意と退場の権限を与える）。

13. 観覧席からの発声について

- ・観覧席からの発声を禁止する（選手への激励、健闘を称える場合は拍手で行う）。主催者等による注意を守らない場合は退場を宣告する。

14. 飲食場所について

- ・飲食場所は、ぐんまアリーナ2階・3階とぐんま武道館2階のみとし、十分な間隔を空けて飲食を行う。

15. 紅白帯について

- ・紅白帯は、各校での準備とし実行委員会で準備はしない（都道府県委員長は予備を準備しておくこと）。

16. 大会期間中の行動制限について

- ・大会期間中、選手・監督・コーチと都道府県関係者との不要な接触を禁止する。
- ・実行委員会が準備するシャトルバスの利用は選手・監督・コーチに限る。
- ・宿泊場所において、選手・監督・コーチと都道府県関係者との不要な接触がないように別の宿泊場所となるように依頼する。

17. 館内の換気について

- ・正面入口については、常時、開放する。その他のドアや窓については、定期的に開放し換気を行う。

18. その他

- ・円陣、ハイタッチ等、ソーシャルディスタンスが確保できない全ての行為を禁止する。
- ・他人との共有使用（ペットボトル、コップ、タオル等）を全て禁止する。
- ・大会役員への湯茶の接待は行わない（お茶付きで弁当のみ準備）。
- ・個人戦において2回戦が初戦となるシード選手は、練習会場における密を避けるため、可能な限り練習会場への入場時刻を遅らせること。

IV 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に係る 大会運営上の変更点

1. 開閉会式の簡略化

- ・「開会宣言」「選手宣誓」及び「閉会宣言」のみ実施する。
- ・「優勝旗・優勝杯返還」「バナー・レプリカの授与」は放送で紹介する。
- ・開会式での選手整列は行わない。
※女子団体戦の第1試合出場校が各試合場の待機席にて参加(第2試合出場校は任意)
※式典中は静粛にし、館内放送を聞くこと

2. 表彰式の簡略化

- ・団体戦：優勝、準優勝、第3位のみ表彰、第5位及び敢闘賞は放送にて紹介する。
- ・個人戦：優勝、準優勝、第3位のみ表彰、第5位は放送にて紹介する。
- ・賞状は読み上げない。賞状、メダル等は表彰盆から選手自らが取り上げる。
- ・第5位及び敢闘賞の賞状は、別途、実行委員会から監督に渡す。

3. 柔道衣点検の簡略化

- ・試合当日、待機席への入場前に試合場統括主任が目視にて柔道衣点検及びIJFマークの確認を行う。なお試合途中、審判により疑義が生じた場合は、各試合場において審判員が計測器を用いて検査する。規格不適合と判断された場合は、同校の別の柔道衣（規程にあったもの）に着替えさせて試合を行わせる。代替の柔道衣がない場合は、相手選手の「棄権勝ち」とする。

※サポーターを着用し試合を行う選手は、点検前に試合場統括主任まで申し出ること。

4. 練習会場利用者の限定

・練習会場（ぐんま武道館）は、当日試合者と翌日試合者のみの利用とする。

5. 翌日試合者の練習及び計量の分散化

→ ブロック毎に練習時間（1時間50分/日）・計量（30分）を割り振る。

女子団体（8月22日）

| | 練習 (ぐんま武道館第1道場) | 計量 (ぐんま武道館第3道場) |
|------------------|--------------------|--------------------|
| 四国・九州・中国・近畿 | 12:00～13:50 | 14:00～14:30 |
| 北海道・東北・北信越・関東・東海 | 14:00～15:50 | 16:00～16:30 |

男子団体（8月23日）、女子個人（8月24日）、男子個人（8月25日）

| | 練習 (ぐんま武道館第1道場) | 計量 (ぐんま武道館第3道場) |
|------------|--------------------|--------------------|
| 四国・九州 | 8:00～9:50 | 10:00～10:30 |
| 中国・近畿 | 10:00～11:50 | 12:00～12:30 |
| 北海道・東北・北信越 | 12:00～13:50 | 14:00～14:30 |
| 関東・東海 | 14:00～15:50 | 16:00～16:30 |

※該当の練習時間内に非公式計量を行うことを認める

※各ブロックの練習後、会場の消毒を実施する

6. 当日試合者のアップ会場の分散化

・当日試合者で以下の出場校・出場者の試合開始前のアップ場所を試合会場である「ぐんまアリーナ」とする（それ以外は、ぐんま武道館大道場）。

団体戦：第1、2試合出場校

個人戦：第1～5試合出場者

※これに伴い、講道館講習会②(8/22)の開始時刻が例年の9:00から8:30に変更

7. 見学者について

・事前申請による受付のみとし、当日受付は行わない。また、見学できるのは1名につき大会期間中1日のみとする。なお、事前申請があっても、「健康状態申告書」【様式25】の提出がない（記載不備含）者の入場は許可しない。

～感染拡大防止対策の周知徹底について～

上記の基本方針については、事前に大会HPに掲載する。なお、出場校及び大会関係者に対しては、文書にて周知徹底するものとする。